

=====
統計メールニュース No.801(2015.12.16)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====
【本日の公表データ】

■平成 26 年全国消費実態調査

(二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)

- 消費支出に占める費目別の割合について、前回(平成 21 年)から割合が上昇したのは「食料」、「光熱・水道」、「交通・通信」など
- 品目ごとに購入形態をみると、電子マネーを利用した割合が高いのは、バス代、鉄道運賃など
- 品目ごとに購入先をみると、通信販売(インターネット)を利用した割合が高いのは、航空運賃、音楽・映像収録済メディアなど
- ライフステージにより支出割合が大きく変わるのは、食料、住居、教育など
- 介護をしている人がいる世帯は、保健医療などへの支出割合が相対的に高い
- 母子世帯は可処分所得と消費支出がほぼ同額
- 自県以外での支出割合が高い都道府県は、奈良県、岐阜県など
- 貯蓄現在高は世帯主が 60 歳代の世帯で最も多く、負債現在高は世帯主が 30 歳代の世帯で最も多い

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2014/index.htm>

=====
調査へのご理解・ご協力をお願いします。

=====
配信先の変更・配信中止など

<http://www.stat.go.jp/info/mail/index.htm>

ご意見、ご感想、配信に関するお問合せなど

stat_m-news@soumu.go.jp

=====
このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報システム課統計情報企画室

stat_m-news@soumu.go.jp